

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 オークマ株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6103 URL <https://www.okuma.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家城 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 堀江 親 (TEL) 0587-95-7822  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年11月27日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	110,512	1.5	11,975	13.5	12,510	△1.0	8,751	△5.3
2023年3月期第2四半期	108,899	40.7	10,555	103.9	12,634	131.5	9,236	133.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 17,597百万円( 2.1%) 2023年3月期第2四半期 17,232百万円( 238.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	283.86	—
2023年3月期第2四半期	296.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	295,689	226,774	73.3
2023年3月期	287,538	212,850	70.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 216,866百万円 2023年3月期 203,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	90.00	—	90.00	180.00
2024年3月期	—	100.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	1.0	25,500	2.8	26,500	0.2	19,500	1.6	632.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期2Q	33,755,154株	2023年3月期	33,755,154株
2024年3月期2Q	2,943,439株	2023年3月期	2,795,280株
2024年3月期2Q	30,828,569株	2023年3月期2Q	31,203,150株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
(1) 受注及び販売の状況	10
(2) 海外売上高	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当グループの経営環境は、国内、海外共、総じて工作機械需要は、弱含みの動きが続き、受注は一進一退の展開となりました。他方、労働人口減少、脱炭素化、サプライチェーン再編等、社会課題への対応に伴う需要は底堅く推移しました。こうした中、省熟練・省人化の高精度・高効率生産を実現する知能化技術と自律的にエネルギー消費量を削減し脱炭素化に貢献する機能を備えた当グループの工作機械を「Green-Smart Machine」として一斉展開し、受注獲得に注力しました。

地域別の市況については、日本は底打ち時期を探る中、半導体製造装置や自動車関連からの需要回復が予想より遅れており、受注は動きの鈍い状況が続きました。

米国の市況は弱含みで推移しましたが、製造の国内回帰の動きがあり、また大手企業や航空宇宙等、ハイテク産業での需要は底堅さを維持し、EV関連の設備投資も広がり始めました。

欧州では需要を大きく牽引する産業は見られないものの、東欧、トルコ等の周辺国を中心に各種の産業機械、農業・建設機械、油圧機器、自動車等において需要は底堅く推移しました。しかしながらインフレ等を警戒し、一部で設備投資を様子見する動きも見られました。

中国は風力発電機等、環境対応のインフラ関連からの需要は底堅く推移するも、市場全体を牽引する活況産業が見られず、工作機械の需要は停滞しました。活況を呈していたEV関連からの需要が一巡する中で、大手EVメーカーの設備投資が進みました。

中国を除くアジアにおいては、タイ、マレーシア、インドネシアの市況は緩やかな回復傾向となり、インドにおいては設備投資への旺盛な意欲が見られました。他方、ベトナム、韓国、台湾等では弱い動きが続きました。

このような市況の下、米国では積極的な販売活動で中堅・中小事業者の設備投資意欲を喚起し、欧州では2023年9月18日から23日にかけてドイツ ハノーバー市で開催された欧州工作機械見本市 (EMO Hannover 2023) に出展し、自動化ソリューション、環境対応の技術・製品をアピールし、潜在需要の掘り起こしを図りました。

また、基本戦略とする「ものづくりDXソリューションの展開」を着実に進め、その一環として、中国では4か所目となるテクニカルセンターを寧波に開設し、日本では埼玉県に国内6か所目のCS (Communication & Solution) センターとして東日本CSセンターを開設致しました。また、オークマのスマートファクトリー Dream Siteで培った自動化技術やDXのノウハウを活用して、(株)木村铸造所との協創による新世代铸造製造技術の開発を進め、ロボットによる省人化、工程間のデジタルデータ連携等により多品種少量の小物鑄物の生産革新、ものづくりDXの取組みを進めました。

部品・ユニット類や鑄物・鋼材の調達難は解消に向かう中、協力会社を中心にサプライチェーンの強化を加速させ、高水準の受注残高の下、生産の安定化を図りました。部材のコストは高止まり乃至緩やかな上昇が続いていることから、生産の効率化等、自助努力に注力しながら、販売価格への転嫁を進めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結受注額は101,486百万円（前年同四半期比16.2%減）、連結売上高は110,512百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は11,975百万円（前年同四半期比13.5%増）、経常利益は12,510百万円（前年同四半期比1.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,751百万円（前年同四半期比5.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して8,150百万円増加し、295,689百万円となりました。主な要因は「棚卸資産」の増加12,714百万円、「受取手形及び売掛金」の増加3,117百万円、「投資有価証券」の増加3,004百万円、「有形固定資産」の増加1,655百万円、「無形固定資産」の増加1,306百万円、及び「現金及び預金」の減少14,421百万円などによるものです。また、負債は前連結会計年度末と比較して5,773百万円減少し、68,915百万円となりました。主な要因は「支払手形及び買掛金」の減少2,722百万円、「電子記録債務」の減少2,137百万円、「賞与引当金」の減少360百万円、及び「未払法人税等」の減少140百万円などです。純資産は、「為替換算調整勘定」の増加6,175百万円、「利益剰余金」の増加5,964百万円、及び「その他有価証券評価差額金」の増加2,088百万円などにより、13,924百万円の増加となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は73.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結累計期間末と比較して12,753百万円減少し、50,139百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,122百万円の支出となりました（前年同四半期連結累計期間は6,413百万円の収入）。主な資金の増加項目としては、税金等調整前四半期純利益12,510百万円、減価償却費4,619百万円です。一方、主な資金の減少項目としては、仕入債務の減少8,511百万円、棚卸資産の増加7,567百万円、法人税等の支払額4,980百万円、及び売上債権の増加1,065百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、6,660百万円の支出となりました（前年同四半期連結累計期間は4,280百万円の支出）。主な資金の減少項目としては、有形固定資産の取得による支出3,602百万円、無形固定資産の取得による支出2,746百万円、及び投資有価証券の取得による支出120百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,082百万円の支出となりました（前年同四半期連結累計期間は3,248百万円の支出）。主な資金の減少項目としては、配当金の支払額2,786百万円、自己株式の取得による支出909百万円、及びリース債務の返済による支出385百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想は、需要の調整局面が続くものの、労働人口減少、脱炭素化、サプライチェーン再編等、社会課題への対応に伴う需要は中長期的に底堅く推移することが見込まれ、為替が円安基調の中、2023年5月11日に公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報及び合理的と判断した一定の前提に基づいており、実際の業績等は市況等、様々な要因により予測と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,703	55,282
受取手形及び売掛金	38,125	41,242
電子記録債権	709	1,061
棚卸資産	79,141	91,855
その他	8,705	8,643
貸倒引当金	△367	△400
流動資産合計	196,017	197,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,957	26,790
その他（純額）	26,417	25,240
有形固定資産合計	50,375	52,030
無形固定資産		
7,543		8,849
投資その他の資産		
投資有価証券	26,937	29,942
その他	6,672	7,190
貸倒引当金	△6	△9
投資その他の資産合計	33,603	37,123
固定資産合計	91,521	98,004
資産合計	287,538	295,689

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,788	16,065
電子記録債務	17,923	15,785
未払法人税等	4,403	4,262
賞与引当金	4,078	3,718
役員賞与引当金	146	89
製品保証引当金	413	441
その他	19,611	19,258
流動負債合計	65,364	59,621
固定負債		
社債	5,000	5,000
退職給付に係る負債	161	175
その他	4,163	4,118
固定負債合計	9,324	9,293
負債合計	74,688	68,915
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,000	18,000
資本剰余金	41,715	41,749
利益剰余金	139,321	145,286
自己株式	△12,960	△13,833
株主資本合計	186,077	191,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,829	11,918
為替換算調整勘定	8,061	14,236
退職給付に係る調整累計額	△451	△489
その他の包括利益累計額合計	17,439	25,664
非支配株主持分	9,333	9,907
純資産合計	212,850	226,774
負債純資産合計	287,538	295,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	108,899	110,512
売上原価	74,704	74,486
売上総利益	34,194	36,026
販売費及び一般管理費	23,638	24,050
営業利益	10,555	11,975
営業外収益		
受取利息	86	227
受取配当金	428	494
為替差益	1,638	-
その他	178	237
営業外収益合計	2,331	959
営業外費用		
支払利息	29	30
為替差損	-	69
その他	223	325
営業外費用合計	253	424
経常利益	12,634	12,510
税金等調整前四半期純利益	12,634	12,510
法人税等	3,300	3,765
四半期純利益	9,333	8,745
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	97	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,236	8,751



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	9,333	8,745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△387	2,087
為替換算調整勘定	8,283	6,800
退職給付に係る調整額	3	△35
その他の包括利益合計	7,898	8,852
四半期包括利益	17,232	17,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,190	16,976
非支配株主に係る四半期包括利益	1,041	621

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,634	12,510
減価償却費	3,844	4,619
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	146	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△429	△432
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18	△60
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△323	△301
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	66	31
受取利息及び受取配当金	△514	△722
支払利息	29	30
為替差損益 (△は益)	△21	△60
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,539	△1,065
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,001	△7,567
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,518	△8,511
その他	3,130	△297
小計	10,521	△1,828
利息及び配当金の受取額	497	703
利息の支払額	△29	△30
法人税等の支払額	△4,576	△4,980
法人税等の還付額	0	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,413	△6,122
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△166	△8
有形固定資産の取得による支出	△2,164	△3,602
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△1,542	△2,746
投資有価証券の取得による支出	△272	△120
その他	△135	△186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,280	△6,660
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△314	△385
自己株式の取得による支出	△1,206	△909
配当金の支払額	△1,727	△2,786
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	-	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,248	△4,082
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,055	2,309
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,939	△14,556
現金及び現金同等物の期首残高	60,954	64,696
現金及び現金同等物の四半期末残高	62,893	50,139

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,696	32,861	18,353	8,988	108,899	—	108,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40,165	8	64	5,533	45,771	△45,771	—
計	88,861	32,870	18,417	14,521	154,670	△45,771	108,899
セグメント利益	7,437	3,145	1,085	483	12,152	△1,596	10,555

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,596百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	欧州	アジア・パ シフィック	計		
売上高							
外部顧客への売上高	50,284	31,753	21,033	7,441	110,512	—	110,512
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,124	2	108	8,036	51,271	△51,271	—
計	93,408	31,756	21,141	15,477	161,784	△51,271	110,512
セグメント利益	9,442	2,667	1,351	745	14,207	△2,231	11,975

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,231百万円は、未実現利益の消去他であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

①受注状況

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
NC旋盤	20,185	23,660	18,853	23,706
マシニングセンタ	63,103	56,947	51,129	57,917
複合加工機	32,394	19,602	27,779	18,212
NC研削盤	2,746	2,333	1,583	1,602
その他	2,699	1,476	2,139	1,156
合計	121,129	104,019	101,486	102,595

②販売実績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
NC旋盤	21,030	19.3	19,672	17.8
マシニングセンタ	55,740	51.2	57,405	51.9
複合加工機	27,907	25.6	29,580	26.8
NC研削盤	2,087	1.9	1,748	1.6
その他	2,132	2.0	2,106	1.9
合計	108,899	100.0	110,512	100.0

(2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	米国	その他 米州	欧州	中国	その他 アジア・パ シフィック	計
I 海外売上高	28,157	4,516	18,356	12,033	7,850	70,916
II 連結売上高	—	—	—	—	—	108,899
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.9	4.1	16.9	11.0	7.2	65.1

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	米国	その他 米州	欧州	中国	その他 アジア・パ シフィック	計
I 海外売上高	25,860	5,629	21,034	14,460	7,248	74,232
II 連結売上高	—	—	—	—	—	110,512
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.4	5.1	19.0	13.1	6.6	67.2